

健康医療研究会

意見交換会



06月21日（水）15時～17時



高齢期におけるより豊かな精神生活に
向けて、自分たちで考えてみる
(医師との付き合い方も含め)

2023年05月29日

D F 会員の皆様

健康医療研究会

代表世話人 江村泰一

（ご案内）健康医療意見交換会

健康医療研究会では、各分野の専門家をお願いをして、これまで31回のセミナーを開催し会員の皆様のご好評をいただいております。

先般2月2日には元東京都健康長寿医療センター研究所副所長の高橋龍太郎先生と前桜美林大学大学院副学長の長田久雄先生をお招きして、「高齢者の心理に分け入りより豊かな今後の精神生活を探る」と題してセミナーを開催しました。

当日は参加者も含めて重要な問題提起が多々あったと思われませんが、残念ながら時間の制約もあり、議論が中途半端なままで終わったのではないかと主催者としては危惧しております。われわれの目指す健康長寿にとって「気持ちの持ち方」「幸福感」といったことは極めて重要であることはいうまでもなく、また当日議論にあがった、医師との付き合いも本件に大きく関連してくる事項と考えます。

そこで、次回の健康医療研究会のセミナーでは、専門家が入るのではなく、われわれDFのメンバー間で、上記のようなテーマについて、2月2日のセミナーを参照しながら自分だけで考えてみようとの企画をたてました。

論点につきましては、以下を想定していますが、議論の過程で、自由に問題提起して頂いて結構です。

論点1

高齢者の健康管理・医療場面において、「自由で意志的に生きる」ことは可能か

エンディングノートでどこまで自分の意志を表明しきれるか治療方針につき医師に誘導されていないか患者はどこまで自分の意志を表明できるか、どこまで医師と対話できているかインフォームドコンセントはどこまで機能しているか信頼できる医師を持つには

論点2

身体が衰えても幸福感をもって最期の時を迎えることは可能か

老年的超越に至るには

本意見交換会は、何らかの結論を目指すものではなく、一種の放談会とお考え下さい。

議論の中で、こういう点は**専門家（医師）に聞きたいとの声**があれば我々のアドバイザーである高橋龍太郎先生（元東京都健康長寿医療センター研究所副所長）に**ご相談してお考えをお聞きすることは可能です。**

また今後専門家からこんな話を聞きたい、とのご希望があれば、併せてお聞かせ下されば検討致します。

[**参考資料『2月2日の振り返り』へのリンク**](#)

【 開 催 要 領 】

日 時： **6月21日（水） 15時～17時**

場 所：ハイブリッド スタジオ751とZoom (開催日前日夕刻URL送付)

スタジオ751 先着15名様

テーマ：「高齢期におけるより豊かな精神生活に向けて、自分たちで考えてみる」

(医師との付き合い方も含め)

司 会：健康医療研究会世話役 江村 泰一

参加費：無料



参加申込みフォーム



申込み締切り 6月20日(火) 13:00 (Zoom URL 配信の為)

以 上